



# 隱岐 國海士町

島を繁盛させる  
島の販売促進会社を目指して

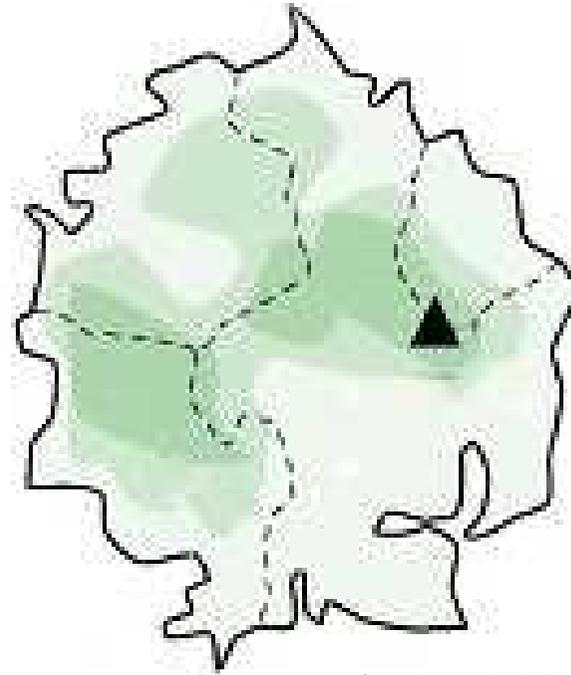
# 御食國・海士町

海士町



# 島根県・隠岐郡

- ・ 島後・島前3島
- ・ 無人島あわせると180の諸島
- ・ 明治時代、鳥取県だった時期も。
- ・ (札幌から12時間!)



西ノ島・西ノ島町  
人口：約3,100人



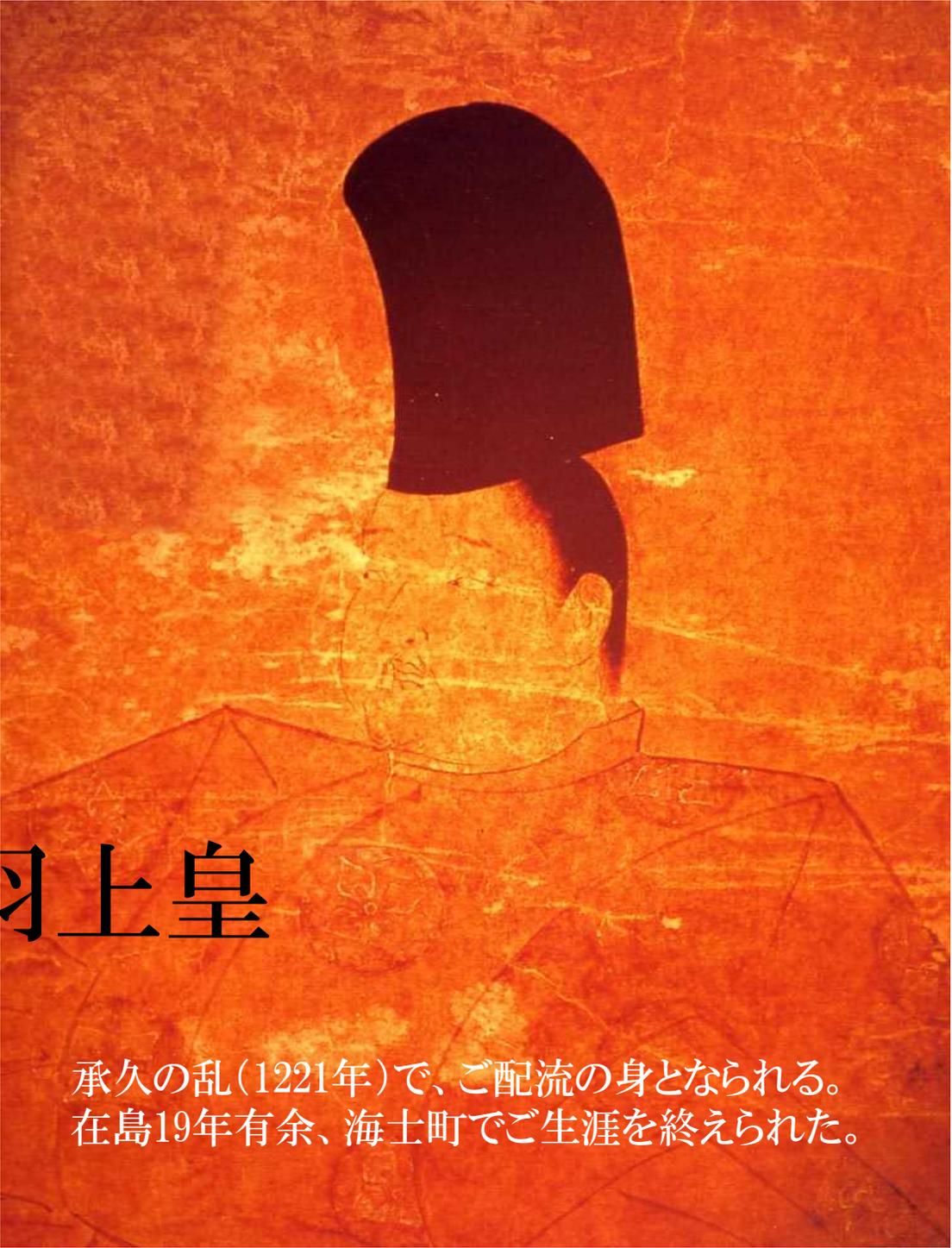
知夫里島・知夫村  
人口：約500人

島後・隠岐の島町  
人口：約15,000人

中ノ島・海士町

- ・ 島根県隠岐郡
- ・ 人口：約2,350名
- ・ 面積：33km<sup>2</sup>・周囲約60km

# 海士町の2つの特徴



# 後鳥羽上皇

承久の乱(1221年)で、ご配流の身となられる。  
在島19年有余、海士町でご生涯を終えられた。

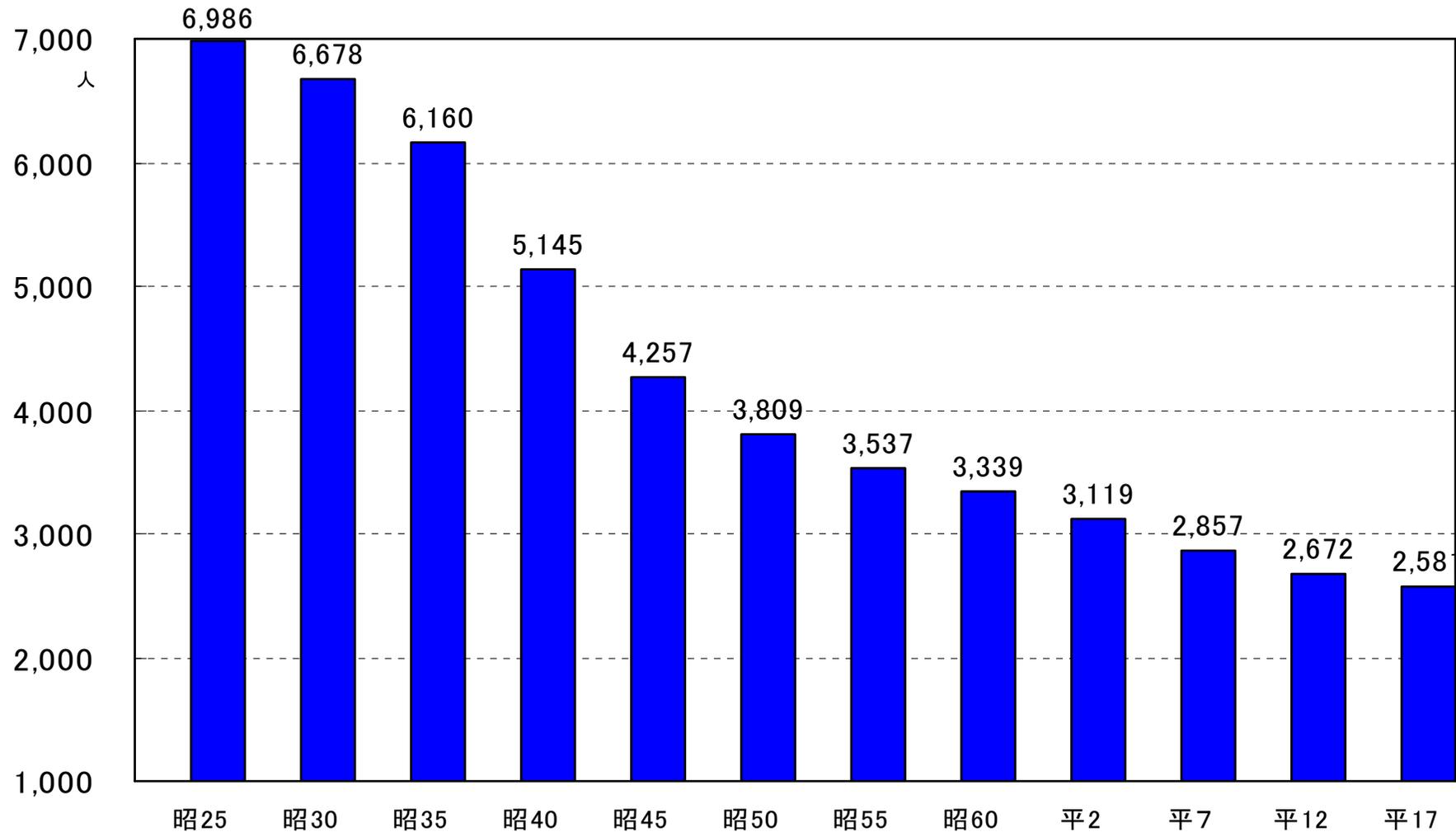
水が湧いています。

名水百選（天川の水）にも選ばれた豊富な湧水



深刻な課題が3つ。

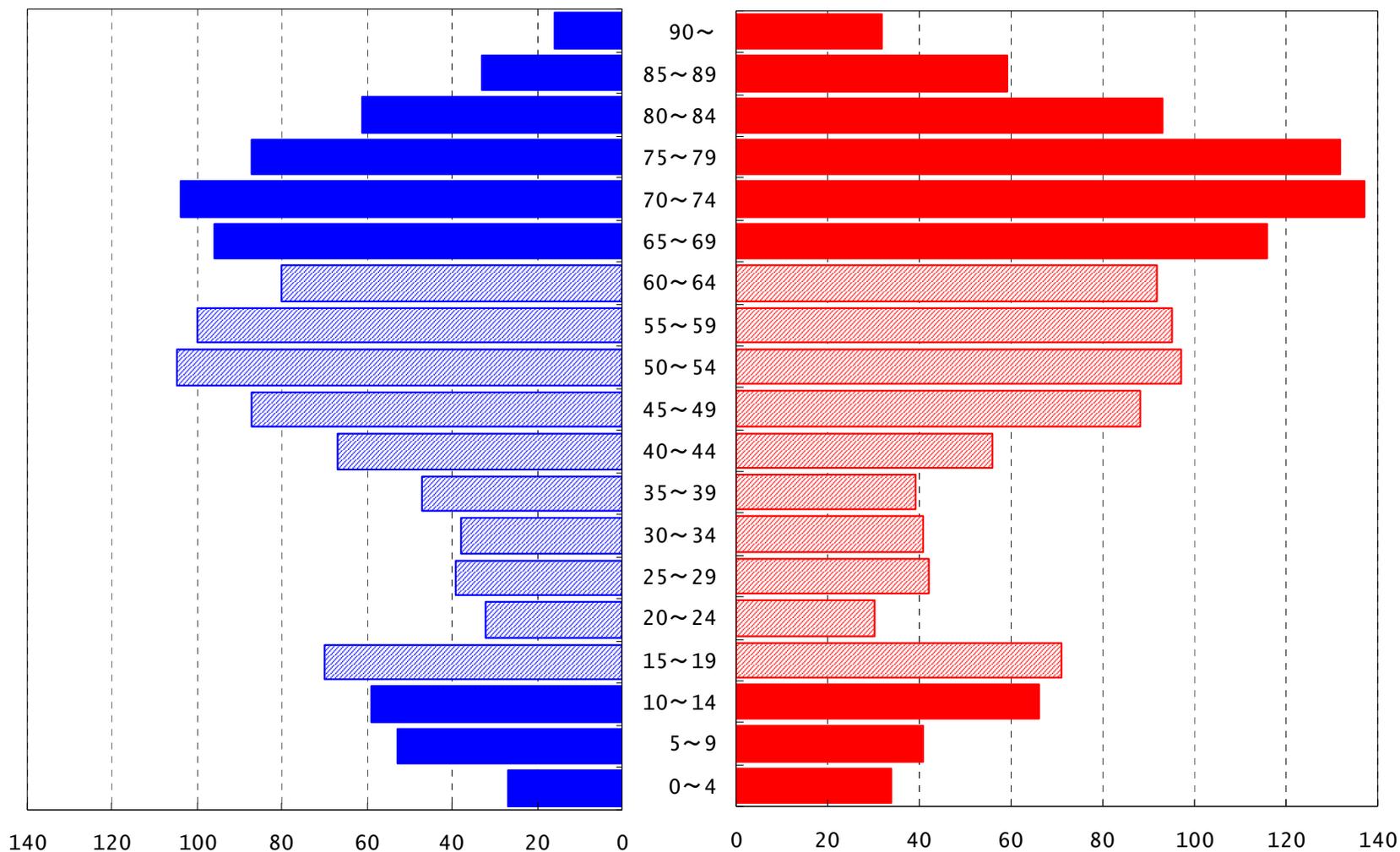
# 1.人口減少



7000人(昭和25年)が2400人(平成22年)へ

# 2. 少子高齢化

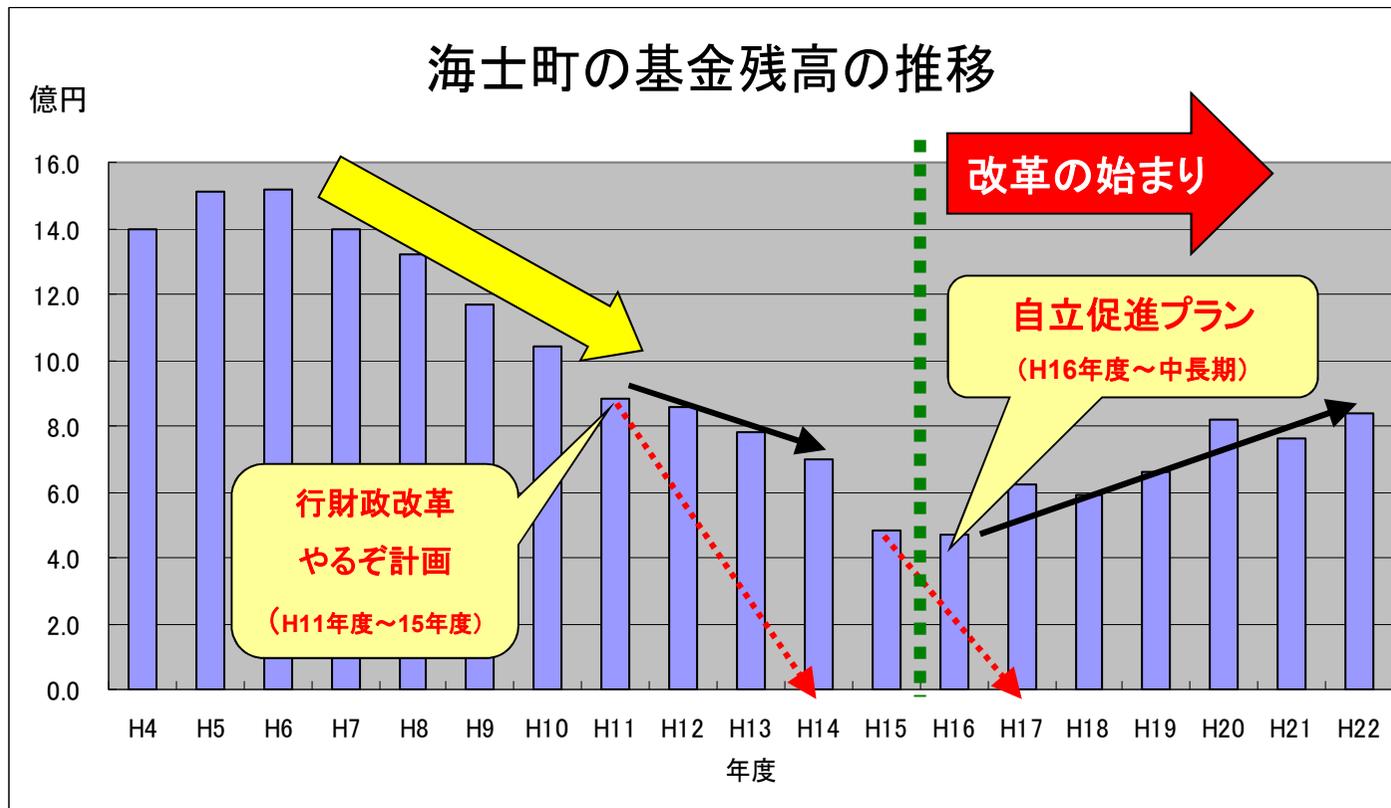
(H15.12.26)



高齢化率 約40%

# 3.財政難

●平成13年度末約101.5億円ピーク) ●平成15年度末約95億円



島が存続をかけて  
取り組んだ4つの取組

## 行財政改革



覚悟

## 産業振興



挑戦

## 定住促進



安心

## 人づくり



未来

そして、確かな幹づくりへ。

観光協会とは。

従来の観光協会

補助金：  
年間1,000万円！

- ・窓口での案内
- ・パンフレット作成

= お客様を増やすことではない。  
⇒ 現実に観光客は10年で半減

行財政改革



産業振興



定住促進



人づくり

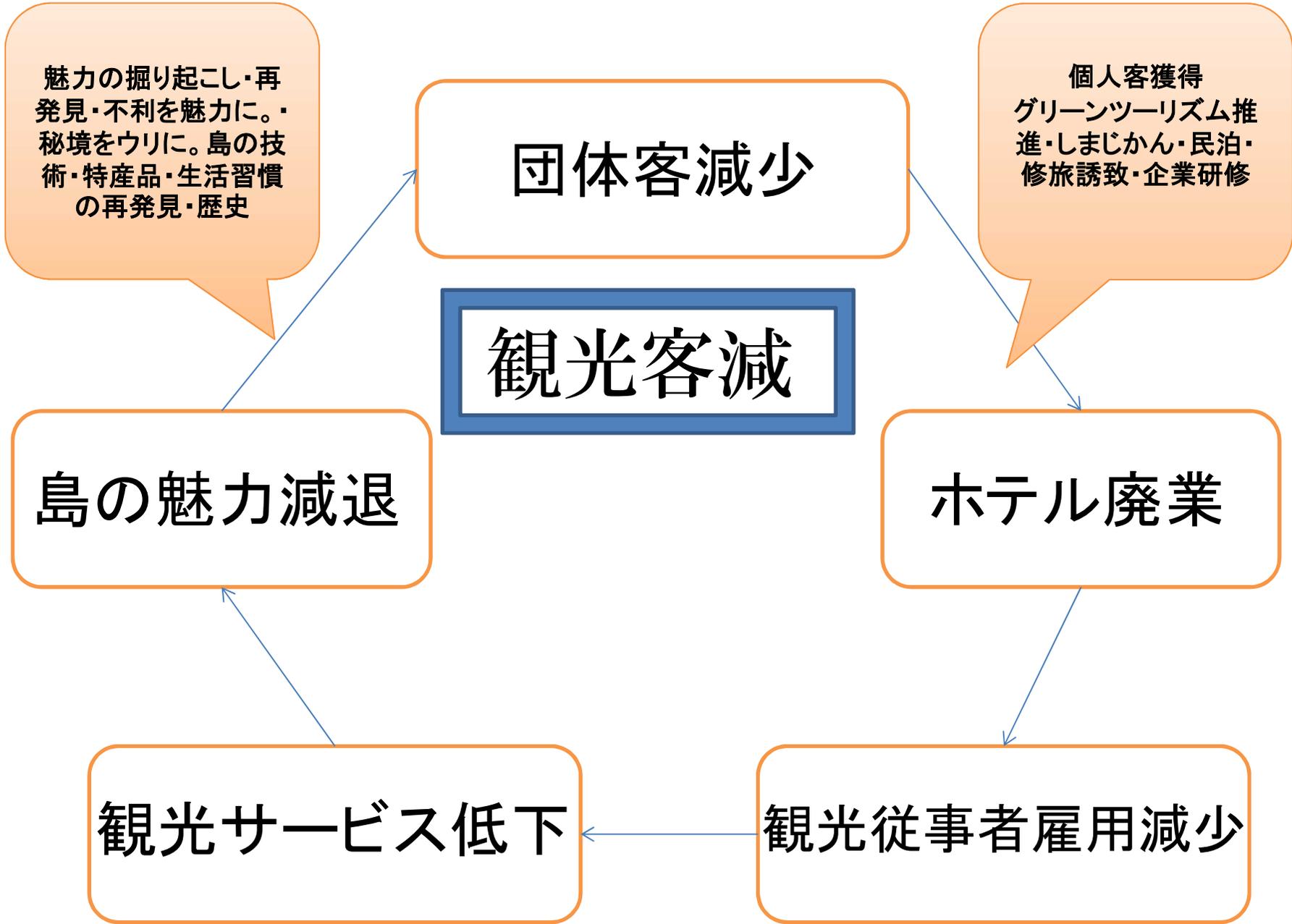


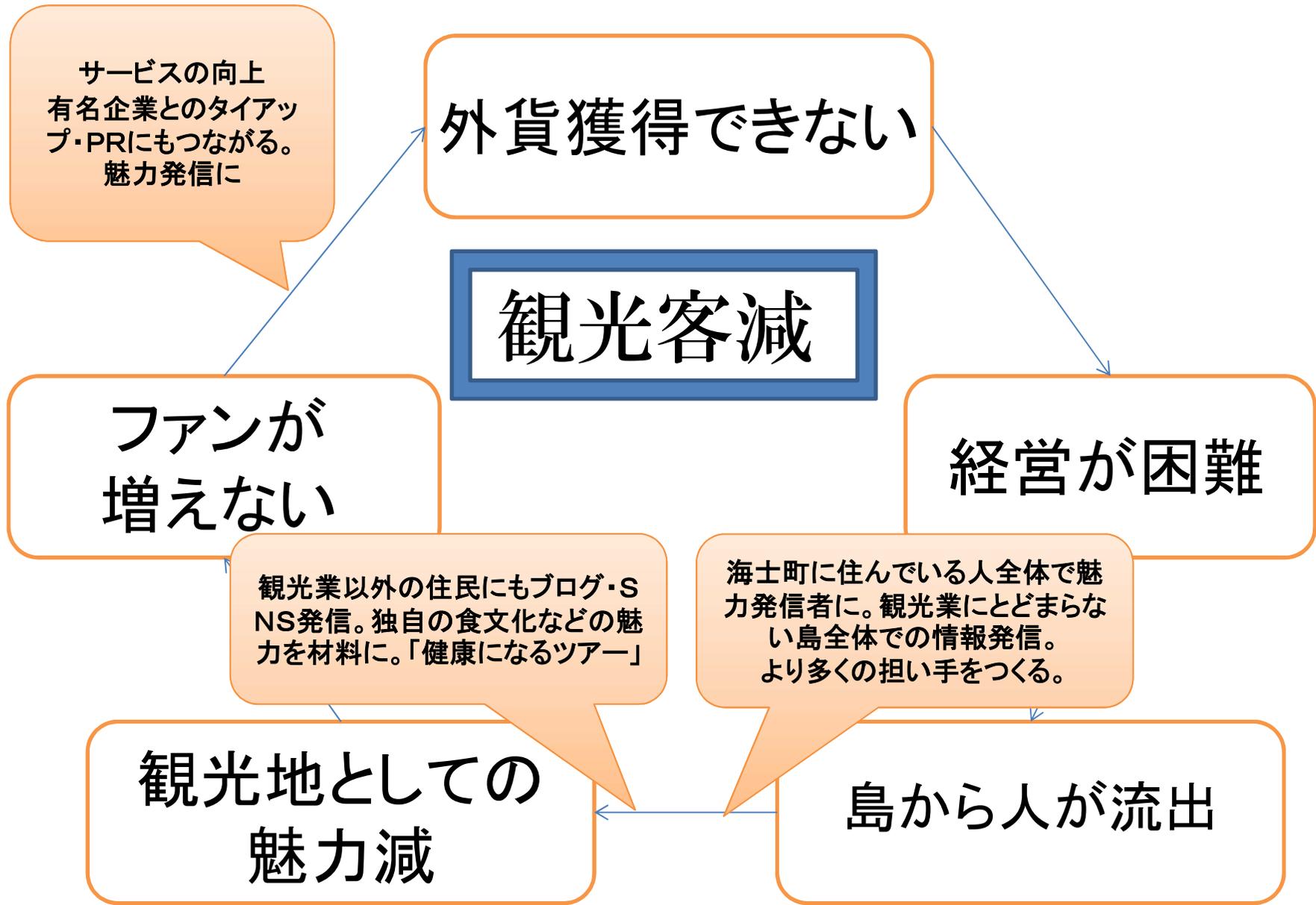
「観光協会は、このままでいいの？」

ここで皆さんに1つお願い。

厳しい観光の状況に対して、  
皆さんならどんな対策をうちますか？

- 昭和50年代学生旅行がピーク。
- それ以降旅行会社がつくる団体旅行が主流。
- 時代の変化に伴い、団体旅行が激減。
- 大型ホテルの廃業、民宿従業員の高齢化
- 観光事業者の撤退、従業員不足





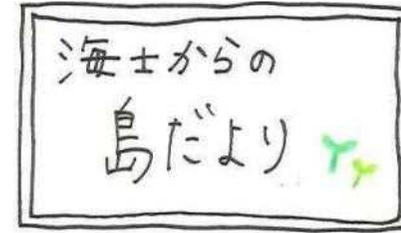
島内研修



会費改正



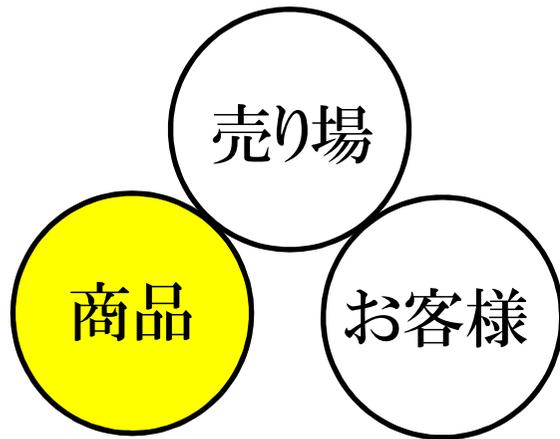
新聞発行



商品を知る。

窓口の  
充実

お客様を知る。



商品を知る。その①

# 「島宿」プロジェクト

仕組みづくり

掃除・リネンサプライ  
島宿マネージャー



観光資源

島の民宿・旅館



仲間づくり

女将 & スタッフ



売り場

商品

お客様

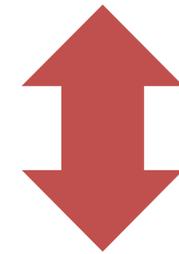
商品を知る。その①

# 「島宿」プロジェクト



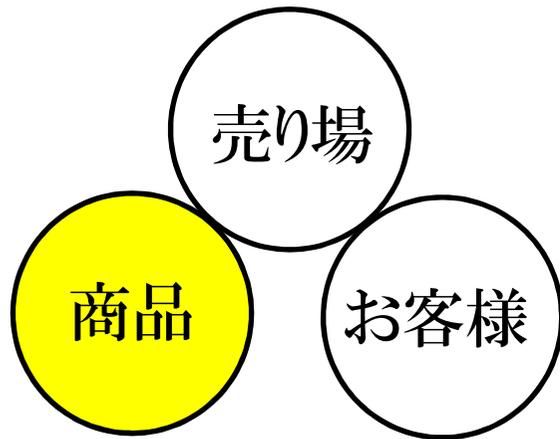
成果

単価アップ  
800泊送泊(前年対比290%)



課題

ハード整備・改修  
「風呂・外壁・照明・  
アメニティ」



商品を知る。その②

# 「島活」プロジェクト

## 仕組み

ガイド派遣・夜参拝  
アテンダープラン



## 観光資源

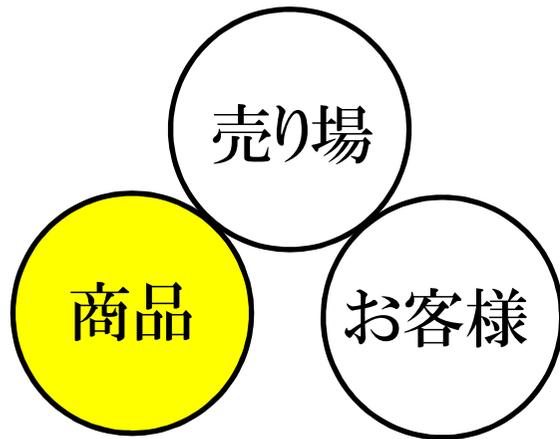
隠岐神社・観光バス  
観光船



## 仲間

神主・運転手・  
白鳥(埼玉出身)





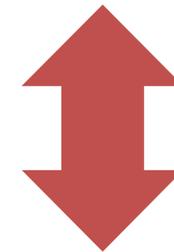
商品を知る。その②

# 「島活」プロジェクト



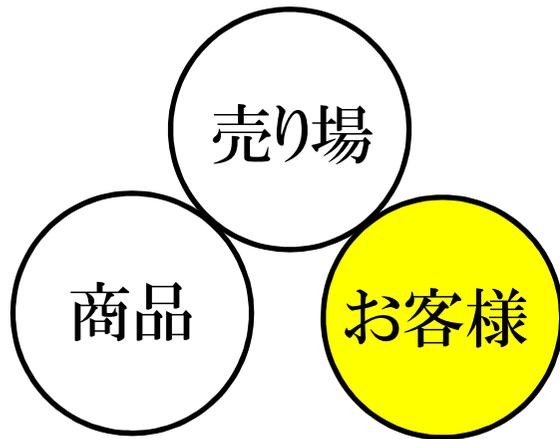
## 成果

夜まわり41組の実施  
ガイド実績4,000名以上



## 課題

観光拠点としての全体設計  
ゾーニング



お客様をつくる。①

# 離島キッチン

## 仕組み

キッチンカー・店舗  
離島ネットワーク



## 観光資源

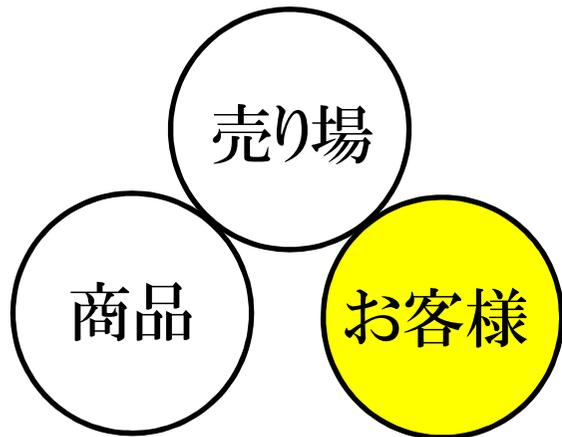
さざえカレー・CAS  
岩がき・ふくぎ茶



## 仲間

島の生産現場  
佐藤(千葉出身)





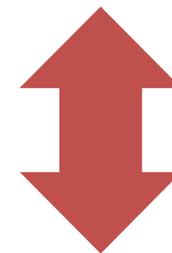
お客様をつくる。①

# 離島キッチン



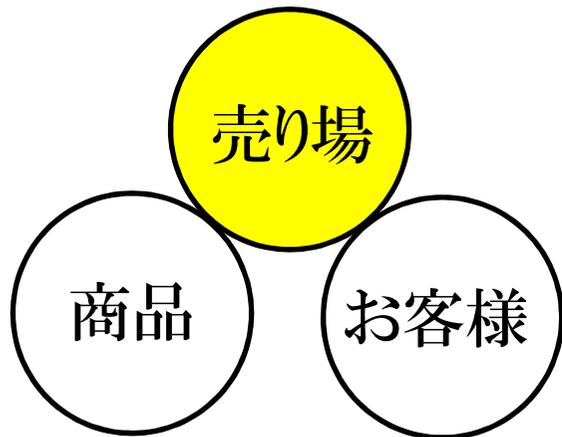
## 成果

年間3,000万円～売上  
年間3万人～来店・提供



## 課題

都内店舗の展開



売り場をつくる。①

# 島のマルチワーカー

## 仕組み

特定人材派遣業



## 観光資源

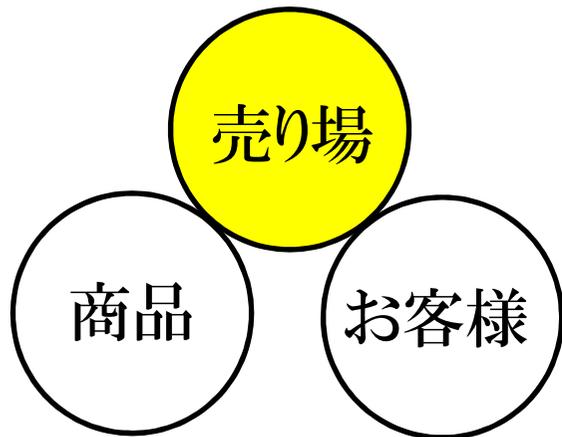
島の営み



## 仲間

島の生産現場  
太田(松江出身)





売り場をつくる。②

# 窓口サービスの向上

## 仕組み

視察受入  
MICE 「島会議」



## 観光資源

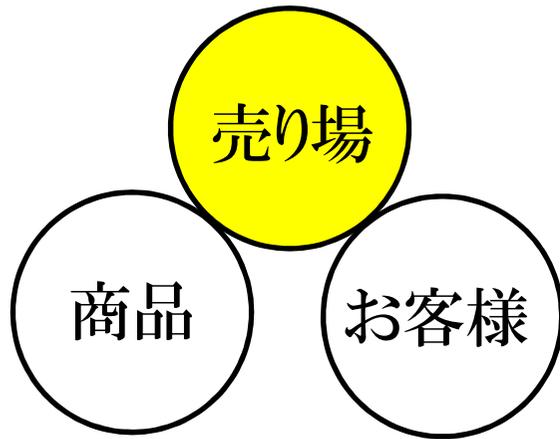
島の取り組み・営み



## 仲間

宿・観光事業者  
青山(札幌出身)





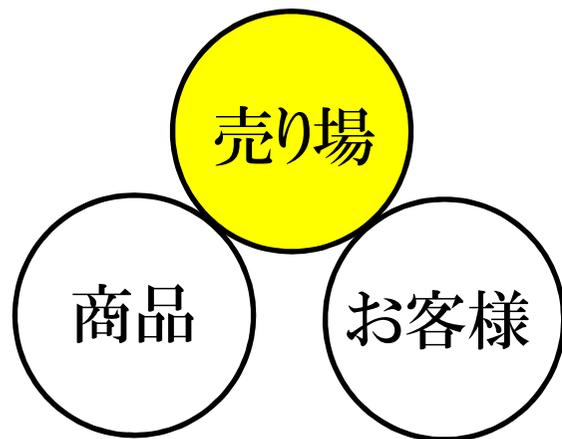
1 / 11

窓口を磨く。

村尾由香里



- 島生まれ島育ち
- どこよりもお土産を頂く窓口。



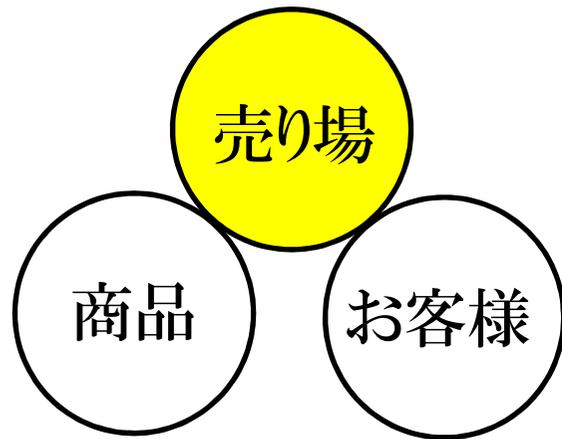
2 / 11

# 視察の受入

銭谷美里



- 島生まれ島育ち、9年目
- 年間100団体、1000名弱の手配



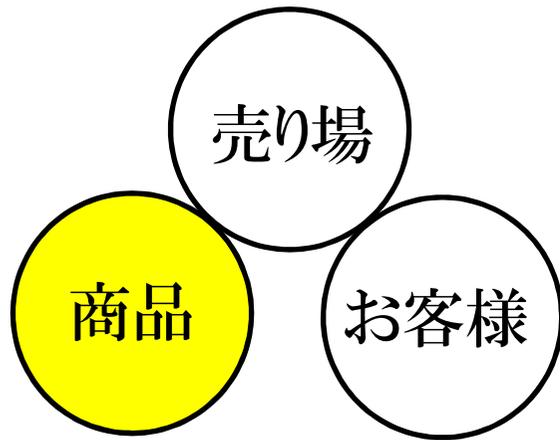
3 / 11

旅をつくる。

青山敦士



- 北海道出身、9年目
- 「島ファクトリー」を分社化
- 「島会議」の企画・運営
- 2014年度450名の参加。

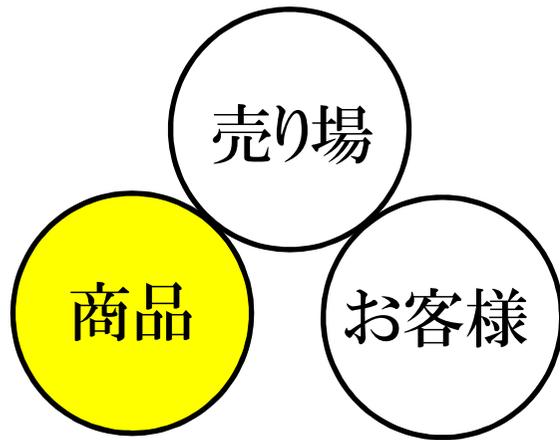


4 / 11

# 島宿を磨く。 サミーラ



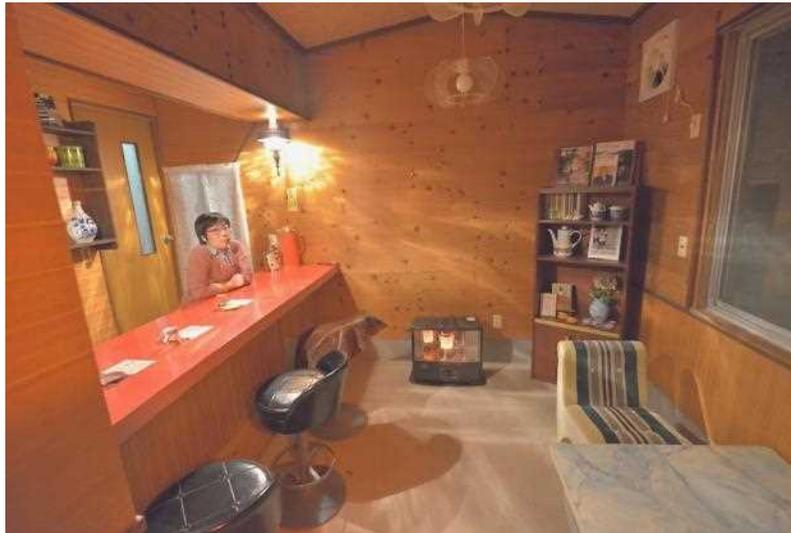
- スリランカ出身、10年目
- 「島宿マネージャー」
- 在庫管理からトイレ掃除まで
- 3年間で送泊約1.5倍



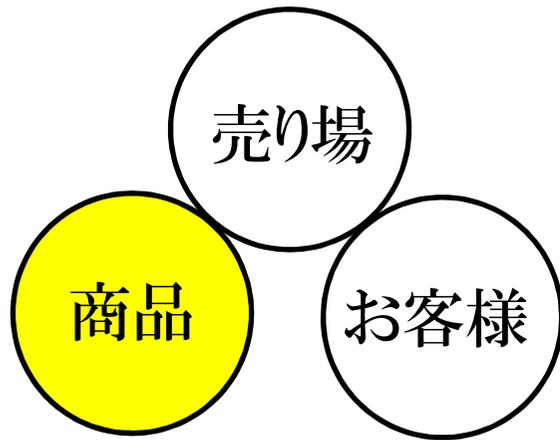
5 / 11

# 島のデザイン

千葉梢



- 東京出身、2年目
- 観光船「あまんぼろ」ガイド
- ゲーム機のデザインから、島のデザインへ



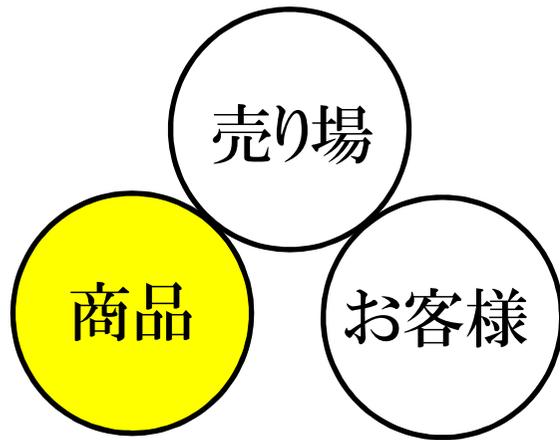
6 / 11

# 島活

本田大輔



- 北九州出身、4年目
- 自転車などアクティビティ開発
- マルチワーカーから

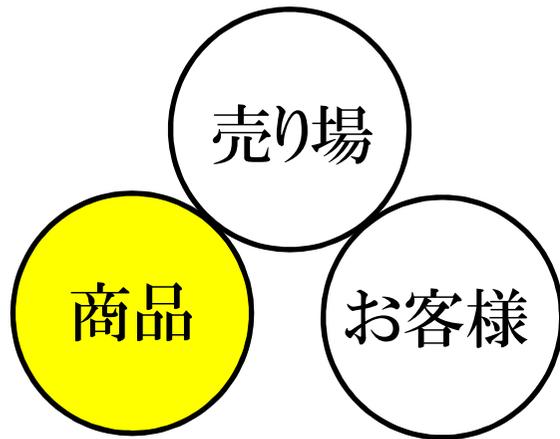


7 / 11

島の写真家  
×  
マルチワーカー  
太田章彦



- 松江市出身、3年目
- 島のマルチワーカー
- 島の写真家として現在東京にて個展開催中



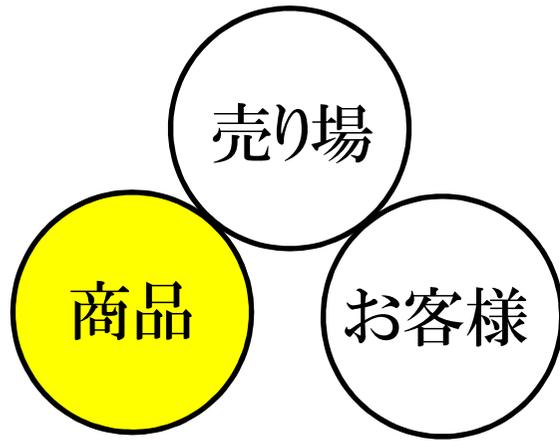
8 / 11

# 洗濯

高島悠人



- 松江市出身、2年目
- リネンサプライ 工場長
- マルチワーカーから転籍



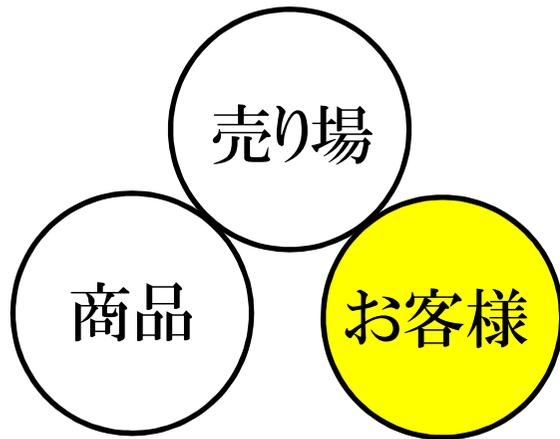
9 / 11

# 島の食を磨く。

芦原昇平



- 佐賀県出身、2年目
- 卒論→新卒→マルチワーカー  
⇒海士町役場交流促進課
- 島の寺子屋事務局



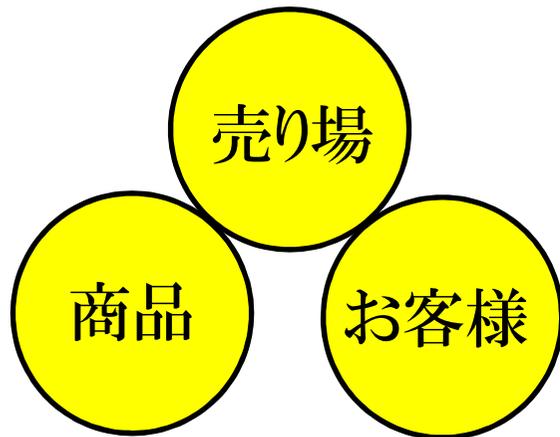
10 / 11

# 島の行商

佐藤喬



- 秋田県出身、6年目
- キッチンカーでの行商から
- 茨城県水戸店、東京浅草店の2店舗を経営、3年目。
- 都内3店舗目の展開へ
- (株)離島キッチンを分社化



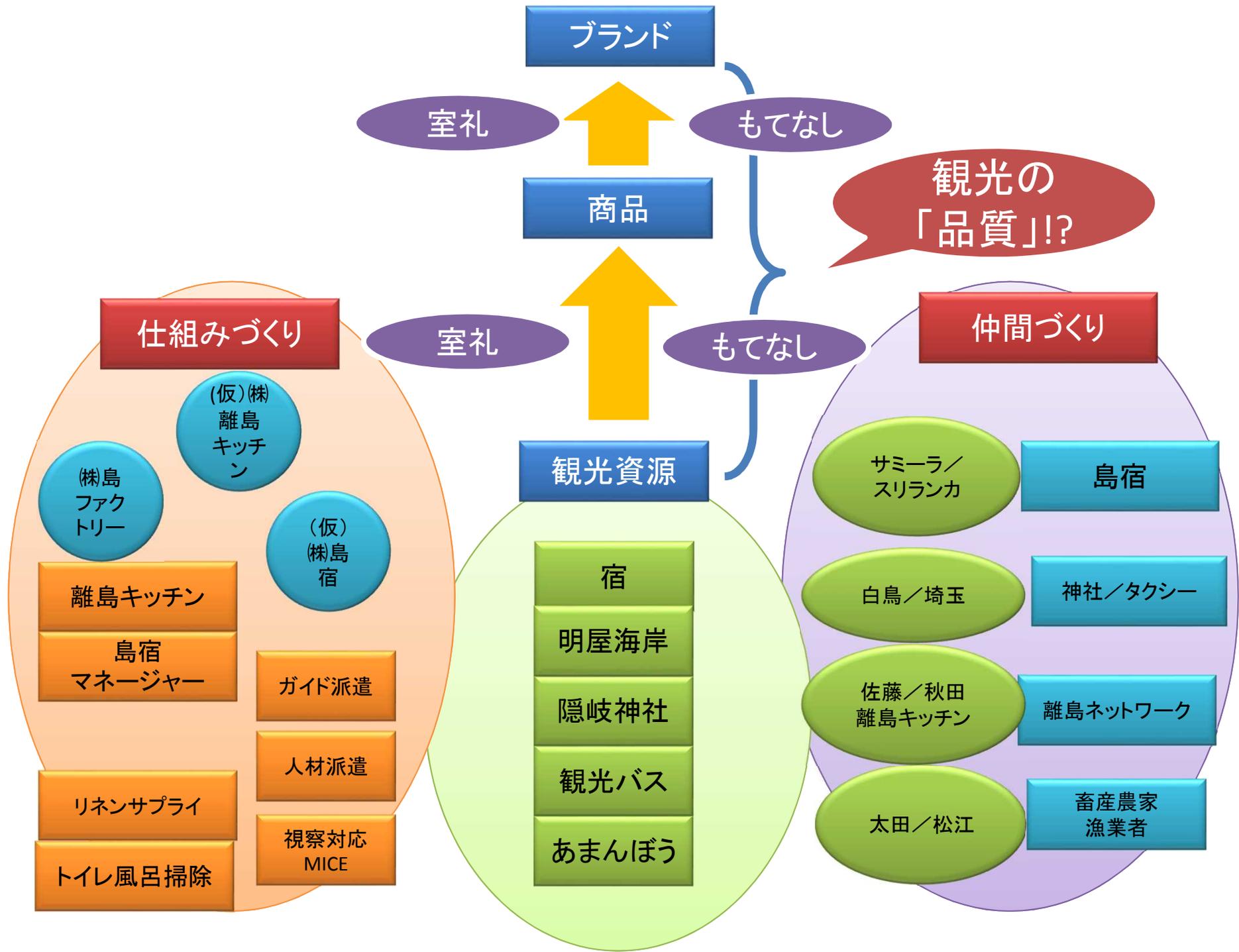
11 / 11

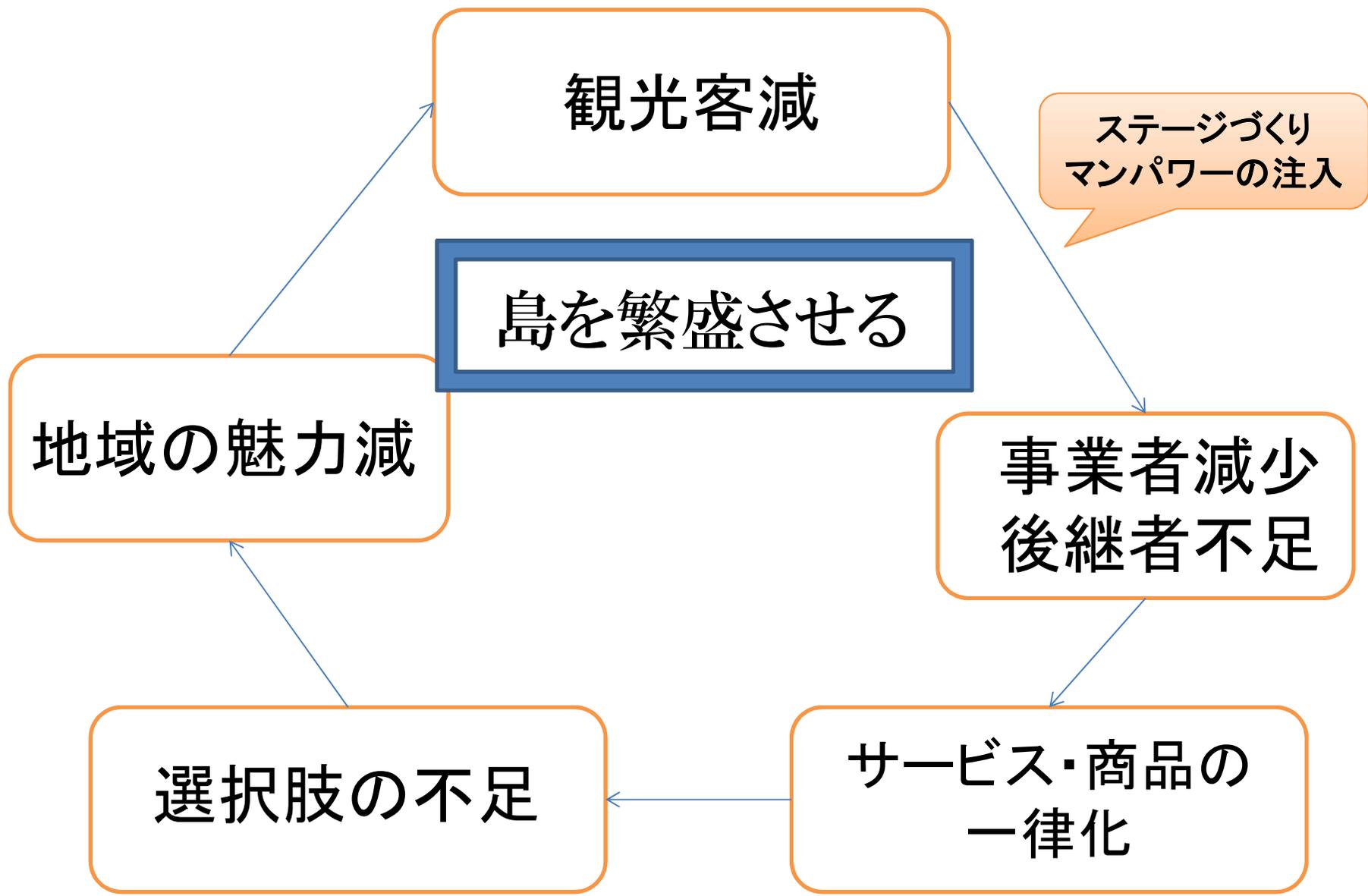
島を繁盛させる。

青山富寿生



- 観光協会事務局長
- 海士町役場交流促進課長
- 10年間で437名のIターン受入
- 「ステージをつくる」





地方にも、地方にこそ熱い想いと危機感があった  
＝そこに人がいた。

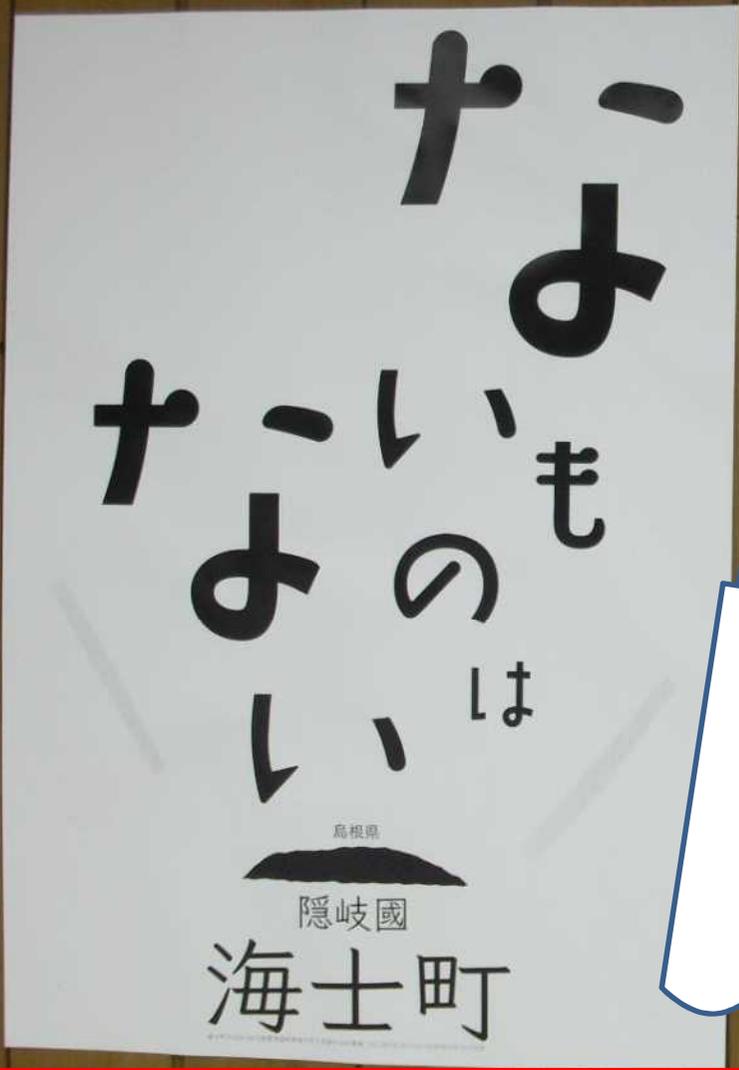


必要とされていたのは、アイデアじゃなかった



観光にはチカラがある。

島を繁盛させる。



便利なものは無くてよい。  
生きるために大事なものは全てここにある。